

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社高工社 本社工場	階数	地上2F
建設地	大阪府東大阪市西岩田4丁目	構造	S造
用途地域	工業	平均居住人員	88 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,761 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2020年3月3日
敷地面積	7,237 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社 一級建築
建築面積	3,901 m <sup>2</sup>	確認日	2020年3月3日
延床面積	7,269 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社 一級建築士事務所 松竹和洋



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.1</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 83%</p> <p>③上記+②以外の 83%</p> <p>④上記+ 83%</p> <p>0 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.5</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.6</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.6</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.5</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.5</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.8</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.5</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>周辺環境に配慮して敷地内に緑化を行っている。特に屋上緑化を設けるなど環境に配慮している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>内装仕上げに防汚性の高い仕上げ方法や建材を使用している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>空間のゆとりへの配慮</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>出来る限りの緑地を計画</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LED照明を採用している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水コマ+節水型便器を採用している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率: 83%</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0167

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)株式会社高工社 本社工場 新築工事						
	建設地	大阪府東大阪市西岩田4丁目						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.8	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							